

研究機関：広島大学

研究課題名 腹膜播種及び腹腔洗浄細胞診陽性胃癌を対象とした多施設共同後向き観察研究
研究責任者名 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 消化器・移植外科学 教授 大段 秀樹
研究期間 2017年1月4日(倫理委員会承認後)～ 2018年12月31日
対象者 2008年1月1日～2012年12月31日までの間に審査腹腔鏡または開腹手術を受けた胃癌の患者さんを対象とします。
意義・目的 本研究では、腹腔内洗浄細胞診陽性胃癌、腹膜播種の患者を対象とし、その治療成績や治療内容を調査することを目的とします。画像上、遠隔臓器転移を認めず、審査腹腔鏡または開腹手術時に腹腔洗浄細胞診陽性(CY1)または腹膜播種(P1)あるいはその両方が判明し、それ以外に非治療因子が無い患者さんを対象とし、①肉眼的根治切除後の術後補助化学療法としてS-1またはS-1+CDDPの併用療法の治療成績を比較します。②手術先行症例と化学療法先行症例の治療成績を比較します。 今回の研究を通じて得られる治療成績や治療内容は、次試験における基礎データとなり、今後の治療開発における重要な情報となる。また、多施設共同研究とすることで、多数例での検討が可能となります。
方法 本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、術前化学療法の有無、手術時の情報、病理所見、術後の化学療法の内容や経過、再発転移の有無などです。
共同研究機関 愛知県立がんセンター 市立伊丹病院 岩手医科大学外科 大阪医科大学外科 大阪医療センター 外科 大阪大学消化器外科 大阪労災病院 がん研有明病院胃外科 がん研有明病院消化器内科 関西医科大学外科 関西労災病院消化器外科 北里大学病院外科 京都医療センター近畿大学外科 神戸大学消化器内科 国立がん研究センター中央病院 国立がん研究センター東病院 埼玉県立がんセンター外科 四国がんセンター外科 静岡県立がんセンター 静岡県立総合病院外科 仙台医療センター外科 千葉県がんセンター 天理よろづ相談所病院 東京医科歯科大学胃外科 栃木県立がんセンター 虎ノ門病院外科 都立駒込病院 長岡中央総合病院外科 新潟県立がんセンター 兵庫医科大学上部消化管外科 広島市立安佐市民病院 広島市立広島市民病院 宮崎県立がんセンター 京都第二赤十字病院 堺市立総合医療センター 市立豊中病院外科 函館五稜郭病院 兵庫県立がんセンター 大阪府立急性期・総合医療センター 名古屋大学 国立がん研究センター中央病院にデータを集めて解析します。
個人情報の保護について 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口  〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5222 広島大学病院 消化器・移植外科 職名 准教授 田邊和照 医科診療医 堀田龍一